



vol.94

2024年
8月31日
発行

日本山岳会

「高尾の森」



通信

— 広針混交の豊かな森づくり活動 —

会員数：個人 170 名 法人 11 社
(2024 年 7 月末現在)

高尾の森づくりの会では、森づくり活動以外に様々なイベントを全力でサポート！
自然とふれあい、日常ではなかなか味わえないような体験に
参加者の皆さん目を輝かせています。



「京王アカデミープログラム 親子森林体験スクール」から、椎茸の駒打ち



サワガニ

綺麗な渓流で見られる日本固有のカニ。
日本で唯一海に行くことなく生涯を流水域で終える。
雨が降った日や湿度の高い日には
川の近くの森まで足を伸ばすことがあり、
高尾の森でも山中で見ることができる。
絵：横川 信由

<http://JACtakao.net>





2024年 通常総会報告

日時：2024年6月15日（土）15:00～16:30

場所：八王子市生涯学習センター 大ホール

議長：村田進、副議長：伊藤篤

【総会成立要件】

①会員総数：168名（必要定足数は56名（1/3）以上）

②当日参加人数：50名

③議決権行使会員：44名（いずれも議案に賛成）

④委任状：15名

総数＝②＋③＋④＝109名で、必要定足数満たすことを事務局長報告で確認した。

【議事録署名人の選任】

議場に議長指名の確認後、異議なしを受け、松川監査役、吉川監査役を指名した。

第一号議案「2023年度事業報告」

①大塚代表から2023年度の事業概要を、早川副代表からフィールド活動を報告した。

②定例作業の中心的リーダーとして計画・実行を担ったA班：鈴木、B班：森中、C班：小野、D班：小山、機械班：組澤から各班の活動を報告した。

第二号議案「2023年度会計報告」

①安藤会計担当より会計報告をした。（157千円の赤字決算）

②松川監査役から事業報告及び会計報告が適正である旨の監査報告をした。

【会員からの意見・要望】

●ドローン使用について、広報活動などへの今以上の利用拡大の要望と、生態調査班の活動について活動内容を会員へ知ってもらうための会報誌への投稿の要望があった。

●ホームページについて運用の適正化・改善の要望と幹事・会員の役割について、役割分担の明確化の要望があった。

質疑応答のあと、議長から第1号議案、第2号議案の賛否を確認し、総会出席会員に異議なく議決権行使の会員と合わせて賛成多数で一括承認決議された。

第三号議案「幹事及び監査役の選任」

大塚代表から、本山幹事（残任期1年）の辞任の申し出と、大塚代表（残任期1年）を除く幹事と監査役の任期満了の報告があった。本総会以降、2年間任期の新幹事と新監査役の選任案について提案があり、賛成多数で承認決議された。

【新幹事】

重任：相澤篤、伊藤篤、小木曾裕子、組澤勝、小山圭司、仁藤正夫、早川憲也、森中大晴

新任：小林道太、村田進

【新監査役】

重任：川久保芳男

新任：小野正、松隈茂

報告事項「2024年度事業計画及び予算」

①大塚代表より2024年度の活動方針及び予算について報告した。

②早川副代表から小下沢及び板当国有林の森林保全活動計画を報告した。

③大塚代表から2024年度予算を報告、また物価高騰のため経費節減の依頼があった。

退任役員

退任幹事：日比野克彦、本山幸次、退任監査役：松川征夫、吉川正幸から挨拶があった。



総会後の懇親会

代表、副代表、事務局長の選出

総会直後の臨時幹事会で代表、副代表、事務局長の互選を実施し、協議の結果全会一致で決定した。

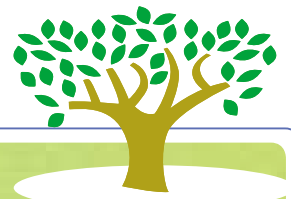
代表 : 大塚哲生

副代表 : 小木曾裕子、組澤勝、早川憲也

事務局長 : 仁藤正夫

各幹事・会員の役割分担は8月末までに幹事会で協議し会員に通知する。

新幹事からひと言



だれもが楽しく活動できる会を



村田進

この度、新幹事となりました村田進です。2009年に会社の先輩に誘われて法人会員として入会し、あっという間に15年の年月が経ちました。

その間、大きく成長した木々やシカ被害を受けたり、荒廃して消滅した植栽地をこの目で見てきました。活動を通して、小下沢・板当地区のフィールドの知見は深まりましたが、一方で最近は体力の衰えを痛感しております。正直なところ、これまで会の活動はほぼ定例作業のみの参加で、会の運営にほとんど関与してこなかったのが実情です。こんな私ですがどうぞよろしくお願いいたします。

昨年5月に新型コロナの行動制限がなくなり、今年4月には台風19号で崩壊した小下沢林道の修復がすべて完了し、実質今年度から通常に活動できる状況になりました。最近は若い会員も増えてきましたので、もう一度初心に立ち返り「安全第一」を最優先にだれもが楽しく活動できる会を目指します。

今年度の事業計画にありましたように、三種のシン化で「シン・高尾の森づくりの会」を築き上げるために、微力ながら会の運営に協力していきたいと思っております。

定例作業以外もご協力を



小林道太

入会して、4年目の私。私生活では「リーダー」「マネージャー」「班長」などから卒業して、この会で毎月の活動に楽しく汗を流していたのに!!! なぜ私??? 率直に感じた6月。

気持ちを切り替え、改めて「高尾の森づくりの会」における幹事とは何をすべき存在なのか? 私なりに考えてみることに。①会の皆さんが気持ち良く作業ができる環境づくり ②山中での作業がメイン、安全第一! ③会をサポートしてくださる企業・団体と良好な関係づくり ④高尾の自然への理解。幹事の行うべき事、山ほどありますね。まずは、先輩幹事の皆さんの行動を参考に「幹事」という役割ががんばってみましょう。

最後に、毎月の定例作業はもちろんの事、「植樹祭」「京王親子森林スクール」「清新小のサマーキャンプ」「紅葉鑑賞会」等など、年間に数々の催しが行われています。普段の定例作業とは異なるメンバーの方々と協力して対応することが多く、新たな発見も盛り沢山です。会員の皆様におかれましては、是非とも定例作業以外の催し参加もご協力をよろしくお願いいたします。

5月活動日記

機械作業班
出動!



いざ、作業場所へ

- 板当では A 班, B 班共同で 2025 年春の植栽地の除伐が行われました。
- 都府林三ノ沢では京王親子森林体験スクールの植樹準備として、作業道の整備、石落としなどが行われました。



ただいま休憩中



コナラをツルから救出!



伐倒集中!



無事倒れました

下山後のお楽しみは手作り杏仁豆腐、

ウマツ!



もくじ

2024 年 通常総会報告	02
新幹事から一言	03
活動日記	04
親子森林体験スクール	07
高尾の森に棲む昆虫たち	08
安全作業のすすめ	09
滋慶 TCA 森林体験教室	10
みどりの感謝祭	11
「ハチ対策講座」を公開講座で	11
新会員紹介	11
事務局からのお知らせ	12

6月活動日記

● 5月に引き続き A 班, B 班で板当の共同作業。ここは日当たりが良く 4月に植樹したエリアは早くも草ボーボー！それに 6月だというのに暑う～い中での作業で汗びしょびしょでした。

● ザリクボ滝周辺ではツル切、除伐。また京王親子森林体験スクールのハイキングルート整備が行われました。

● 定例作業終了後にポイズンリムーバー使用方法の講習会が行われました。



今月の A 班、やけに人数多い？



作業開始前ミーティング



藪との格闘は続く・・・



道具の手入れ、大事です



ポイズンリムーバー講習会

作業終了後は？

フルーツなどなど
たあ～くさん！



7月活動日記

● 板当では 2025 年春植栽地の除伐に加え、2025 年秋植栽地の除伐・道整備が本格化。藪との激闘!?ここは今まで以上に手ごわい場所!

● 都有林では 2023 年度植栽地が雑草・雑木もシカ対策ネットに保護されて繁茂? 下草刈りでスッキリ!

● 定例作業終了後に足の捻挫時のテーピング講習会が行われました。



滝ノ沢林道、
がけ崩れで遮断

この時期
ハチに注意



2025 年秋植栽地の除伐



スッキリしました



都有林下草刈り (C 班)



テーピング講習会



高尾山一丁平園地の保全作業



夏といったらこれッ!

過ぎ去りし少年時代へタイムスリップ

高尾の森 親子森林体験スクール

村田進

京王電鉄と高尾の森づくりの会が共同で行う「高尾の森 親子森林体験スクール」、昨年は最終日が雨天中止となりましたが今回は天気に恵まれ計画通り3日間実施できました。



4月
21日

第1回目

- 春の自然観察
- 植樹の森観察
- 木工教室
- 森のお話
- 地拵え

自然観察



森のお話し

オリエンテーションのあと準備体操をしてから3班に分れ、いざ出発。今年は春の訪れが少し遅いようで、ベース小屋までの林道沿いの草花の開花はちょっと控えめ。それでも水溜の小さなオタマジャクシに出会えて子供たちは大興奮。植樹の森観察、森のお話ではみんな興味津々。地拵えは急斜面に最初は戸惑いの様子でしたが達成感いっぱいの顔で終わることができました。



木工教室



5月
19日

第2回目

- 初夏の自然観察
- シイタケ栽培
- 動物映像鑑賞
- 植樹体験

シイタケ栽培では原木にドリルで穴を空けての駒打ち作業が少し難しく、木工班のサポートでバッチリ完了できました。動物映像は街で見られない高尾の動物に出会って親子で興味を持っていただき質問も沢山ありました。植樹体験は滑りながらもお父さんお母さんに助けられ無事終了。最後に植えた木に名前を書いた名札を付けました。



植樹

シイタケ駒打ち



6月
9日

第3回目

- 新緑ハイキング
- 水生生物観察
- 大声コンテスト

植栽地を巡る新緑ハイキングは、手が行き届いた森林にみんな心惹かれた様子。

水生生物観察は私にとっても初経験。気がついたら子供たちと一緒にサワガニを探していました。そして最後の大声コンテスト、みんな元気に声を出し大いに盛り上がりました。



大声コンテスト



水生生物観察



3日間参加して私自身も多くのことを学ぶ貴重な経験となりました。京王電鉄の運営スタッフの皆様、会のサポートメンバー、そしてスクールにご参加いただいた15組のご家族、本当にありがとうございました。

いつの日か植樹した木々と同じように大きく成長した子供たちと小下沢で再会できることを楽しみにしております。

高尾の森に棲む昆虫たち

連載 第1回



高尾の森に分布している昆虫は約 5,000 種といわれていますが、正確な種数はわかっていないそうです。日本に分布している昆虫は約 30,000 種といわれており単純計算で約 17% の昆虫が分布していることになります。高尾の森の特徴としては、高山性の昆虫や暖地性の昆虫が棲んでいることが挙げられます。さらに、水のきれいな川が流れている為、水生昆虫も数多く棲んでいます。

このように高尾の森には様々な昆虫たちが数多く棲んでいます。基本的には体が小さく、普段歩いているだけだとなかなか目につきません。そこで、今回は小下沢林道で見られる昆虫を知り、虫を探すべきかきにかけてみるはいかがでしょうか。

岡西宏之



ウラギンシジミ

チョウ目シジミチョウ科

- 体長：35 ～ 40mm
- 出現時期：4 ～ 11月

翅(はね)の裏面が銀白色である。雌雄で翅の模様が異なり、雄の前翅表面には紅色紋がある一方、雌には銀白色紋がある。写真のように集団で地面から吸水している姿を見ることがもできる。



コミスジ

チョウ目タテハチョウ科

- 体長：44 ～ 55mm
- 出現時期：4 ～ 10月

翅には3本の線がある。ミスジチョウやホンミスジ、オオミスジといった似た種類がいる。“ひらひら”と飛ぶのではなく、滑空しながら飛ぶため、林道を歩いていると目につきやすい。



ムネアカオオアリ

ハチ目アリ科

- 体長：7 ～ 12mm
- 出現時期：5 ～ 10月

胸と腹の前方が赤褐色を帯びる大型のアリ。黒ずむものや赤色が完全に無いものもいる。倒木や朽ち木に営巣する。地面を見ながら歩いていると、大きなアリが見つかるが本種がそれにあたる。



オオヨツスジ ハナカミキリ

コウチュウ目カミキリムシ科

- 体長：20 ～ 31mm
- 出現時期：7 ～ 8月

リョウブなどの花に集まるほか針葉樹に集まる。背面に黄色と黒色の紋様があるため、一見、ハチのように見えるが、カミキリムシの仲間である。ヨツスジハナカミキリにも似るが本種のほうがやや大きい。



ヒゲナガオトシブミ

コウチュウ目オトシブミ科

- 体長：8 ～ 12mm
- 出現時期：4 ～ 8月

コブシやイタドリなどに集まる普通種。葉を両側から切り取って巻く。背面は濃赤褐色から黄褐色と個体差がある。オトシブミは産卵した後、その卵を葉で巻いて地面に落とすことで知られる。



ハスジカツオゾウムシ

コウチュウ目ゾウムシ科

- 体長：9 ～ 14mm
- 出現時期：5 ～ 8月

アザミ類やキク科植物に集まる普通種。カツオゾウムシにも似るが、前翅に斜めに淡い灰色の帯があることで識別できる。象のような外見をしているが、これは鼻ではなく、口吻とよばれる口である。

安全作業のすすめ……その6

—事故・ケガ事例より ①足関節捻挫処置—

ここ数年の大きなケガとして足関節捻挫があります。今年も既に2件発生しています。ザリクボの沢べりでの姿勢の立て直しによる捻挫、景信山から小仏バス停までの下山中の捻挫であり、本会会員ではありませんがいずれも本会イベント中の発生です。

今回は、足関節捻挫時の応急処置に関する内容をまとめました。適切な固定方法を行うことで痛みの軽減、二次的な損傷を防ぎ、傷病者を安全に下山させることができます。

■足関節捻挫とは

症状：痛み、腫れ、歩行困難など。

原因：足関節の関節を構成する靭帯が伸ばされたり切れたりすること。

■応急処置

まず応急処置として必要なのは、患部を動かさず安静にすることで関節の安定化とさらなる損傷の防止、腫れや痛みの軽減で、これらに有効な方法が固定とアイシングです。

必要な物として、テーピングテープ、三角巾（または応急用包帯）を使用しますが、いずれも会の救急セットに収納されています。これにアイシング用として氷嚢、瞬間冷却パックまたは冷水があれば利用します。

■応急手順

固定を行いその上で冷却を行うようにしますが、まずはアイシングしながら患部の観察を行います。患部の腫れ具合や色（内出血をしていないか）、熱を帯びているか等を観察します。また、どの部位を触ると痛みが走るかも確認します。

固定は素肌に直接行うテーピング固定、靴を含めた衣類の上からでも行える三角巾による固定があり、ふたつを両用することでより強固な固定を行うことができます。

テーピングテープは2種類ありますが、固定を目的としたテーピングは非伸縮性のテープを用います。

①膝を伸ばし、爪先を天に向けた状態で、足底部から踵部、アキレス腱上部にかけてテーピングして足先の上下の動きを固定します(A)

②脚外側くるぶし上から足底部を通り、脚内側くるぶし上までをテーピングし足の左右の動きを固定します(B)

③AとBのテープをサポートしつつ、足首全体を固定するために足首からふくらはぎにかけてテープを重ね貼りしていきます(テープ幅の1/3～半分くらい重ねる)(C)



このテーピングを行った後にアイシングを行うことが可能です。アイシングは患部凍傷に注意しながら行ってください。その上でテーピング処置した上から三角巾を用いた固定を行います(自力で下山させる場合は靴を履いた状態で三角巾固定を行います)。

三角巾を用いた固定を行う場合の注意点として締めつけすぎに注意します(血行を阻害しないように)。ただし弱すぎも固定できていないので、傷病者に確認しながら固定するようにしてください。

固定後自力下山を行う場合は、ストックや杖を使いできるだけ患部に体重を載せないようにします。ただし下山時の肩貸し介助は危険なため、できるだけ避けてください。歩くこともままならない場合は躊躇せずに救急搬送要請を行うなどしてください。

下山後は、救助隊到着または搬送まで安静を保つようにし、患部の状況確認(痛みやしびれの有無)、必要に応じてアイシングの実施を行います。



アイシングには、凍らせたパウチ入り飲料等も利用できます



靴を履いた状態で行った三角巾固定

※写真ではAとBのテープを1枚だけ貼っていますが、こちらも重ね貼りすることでより固定が強固になります。Cのテープももう少し足首下まで貼っても結構です。

お知らせ

★今回の様な応急手当については、10月6日(日)に森の研修会として応急救護講習を予定しています。この講習では、応急手当普及員による心肺蘇生(胸骨圧迫法)や三角巾を用いた応急手当、搬送に関する講習を行います。



森は海の恋人

滋慶TCA森林体験教室

日向一人

今年も6月16日に、滋慶TCAドルフィントレーナー専攻の学生たち約100名が高尾の森にやってきました。森は海の恋人、海を知るには森を知る必要があるとの考えで、毎年授業の一環で小下沢のフィールドを訪れるのです。

体験学習は、植栽地見学・森林教室・景信山登山のメニューで構成されます。まずは木下沢梅林からベースまでの道中、高尾の森スタッフが豊かな自然を紹介して歩きます。4ノ沢では植栽地に立ち寄り、野生動物から苗木を守るための取り組みなどを見学。そしてベースに到着し、いよいよ森林体験教室の開校です。豊かな森はなぜ海の恋人なのか？ 森には食物連鎖が続く環境があり、森の栄養素を含む水が河川を通して海に注げば豊かな海となることを学びます。学生たちは聞いた話、見たこと、感じたことをメモします。そう、これは授業の一環、終了後に体験学習レポートを提出する必要があるので皆さん真剣です。

そして景信山登山。ザリクボ滝を經由し、大ケヤキから植栽地に入り東尾根を經由して山頂を目指します。後半ではつらい登りが続きますが、歌ったり叫んだり、さすがに若者たち皆さん元気いっぱい！ 山頂に着く頃には青空が広がり気温も30度近くまで上がっていました。暑さで皆競い合うように



自然観察



ザリクボ滝にて



景信山山頂到着！

売店のかき氷やラムネなどを堪能していました。そして山頂恒例の写真です。これまでの先輩たち同様、仲間と一緒に思いっきりジャンプをしてこの体験学習の思い出を写真に収めていました。

下山ではさすがに疲れたのか、「あとのくらいでバス停につきますか」と聞かれることもありましたが、無事小仏のバス停に到着！ 大きなアクシデントもなく体験学習を終えることができました。

先日、学生の体験学習レポートの一部を読ませていただきましたが、皆さん海の豊かさには森が必要であることを理解し、高尾の自然のすばらしさを感じてくれていました。良い学習経験になったのではないかとうれしく思っております。これからも、若者の成長をお手伝いできるこの活動をサポートさせていただきたいと思います。



植栽地で



いつものジャンプ！

みどりの感謝祭と 八王子環境フェスティバルに出展

小木曾裕子

ものづくり班中心に5月と6月に2つのイベントに出展しました。5月には11日と12日に開催された第33回森と花の祭典「みどりの感謝祭～みどりとふれあうフェスティバル」に出展。高尾599ミュージアムでの開催は初めてで、ブースはミュージアムの前庭の野外テントでしたが、2日間とも天候に恵まれて大盛況でした。今回からは販売ができず、①木工品の展示や会報の配布等広報活動、②手づくりパズルに挑戦、③丸太切り体験を実施しました。中でも丸太切りが大人気で、1日目で丸太の在庫がなくなり、2日目早朝にベース小屋から追加補充するという大変なことになりました。丸太切りにはミス日本みどりの大使にも挑戦していただき全員で大歓迎！ブースに立ち寄っていただいた

方々には丸太や木工品と接してイベントの趣旨でもある木のぬくもりを感じていただけたと思います。

6月には9日に東京たま未来メッセにて開催された「八王子環境フェスティバル」に出展しました。

昨年からの風雨の心配のないこの屋内会場での開催となり、お子様連れのご家族などで賑わいました。販売ができる数少ないイベントということもあり、ものづくり班のメンバーはバードコール、パタパタ、鍋敷、プランター、パズル、一輪挿し等の自信作をこの日のために製作。大人には懐かしく子供には珍しいパタパタが一番人気で完売しました。また、若者中心に会報を配布するとともに会の活動や動物映像を紹介しました。

両イベントは定例作業や別の支援活動と日程的に重なり参加者の調整が大変でしたが、毎回約10名の会員に協力していただき楽しく充実した対応ができたと思います。



八王子環境フェスティバル



みどりの感謝祭



「ハチ対策講座」を 公開講座で開催

ハチ・救急 対策研修担当 森中大晴

2024年度のハチ対策講座を7月7日(日)に立川市 女性総合センターにて参加者9名で実施しました。講座では、ハチを知る、刺されないようにするには、刺された場合の対処法の3部構成で解説し、特にポイズンリムーバーを用いた吸引実習やエピペン処方までの流れを確認しました。今年は公開講座として開催し、会員以外の一般から3名の参加がありました。今後も公開講座を増やし会内外への安全教育をアピールしていきます。



新 会員紹介



菅野滉希です

自然との接点を求めて

はじめまして。今年の4月からB班でお世話になっております 菅野 滉希(すがの こうき)と申します。東京生まれ東京育ちの山好きサラリーマンです。山登り以外に自然との接点を求めて、この度入会させていただきました。

小さい頃に父とバイクに2人乗りで北海道1周の旅に行ったことをきっかけに自然が好きになりました。その後1人で道東へ住み込みのアルバイトに行ったりと、北海道の大自然に魅入られながらも東京に戻ってからは縁遠い存在となり、しかし数年前ある日突然山に目覚め(笑)今に至ります。

とはいえ、脳みそは普通科出身の都会っ子です。生きてるだけで身についたものは何もございません。どうか皆様の知識とワザをお与えください!

未熟者ですが、軟弱者ではございません。お力添え出来ることがあればぜひご協力させてください。なにより皆様との活動を思い切り楽しみたいと思っています!今後ともよろしくお願いたします。

活動記録

- 5/11 定例作業 (会員61名、法人12名、体験1名)
- 5/11,12 第33回みどりの感謝祭：高尾599ミュージアム (会員延べ19名)
- 5/19 京王親子森林体験スクール 2回目 (親子35名、京王7名、会員18名)
- 6/8 定例作業 (会員56名、法人26名、体験1名)
- 6/9 八王子環境フェスティバル：多摩みらいメッセ (会員10名)
- 6/9 京王親子森林体験スクール 3回目 (親子27名、京王9名、会員19名)
- 6/15 2024年 総会 (出席50名、議決権行使44名、委任状15名)
- 6/16 滋慶学園TCA 森林体験教室 (学生91名、引率4名、会員21名)
- 7/3 一丁整備 (会員7名、京王2名)
- 7/7 ハチ対策講座：立川 女性総合センター (会員6名、一般3名)
- 7/13 定例作業 (会員54名、法人8名、体験2名)
- 7/20 刈払機講習会 (受講者2名、講師・運営4名)

開催日 : 2024年11月5日(火)～11月6日(水)、1泊2日
 見学会場所：アファンの森、飯綱の森(長野県)
 定員 : 10名
 申込み締切：9月15日(日)
 申込先 : 相澤篤または仁藤まで

美林見学会参加者募集



巣箱の主は？

ベース作業小屋底下に設置した巣箱を取り外したら、そこにいたのは何と1.5m程のアオダイショウ！勢よく山に帰っていきました。

大塚代表の「キョット」活動で見つけたいい話

有り難い事に、当会新規加入者や定例作業参加者が増えてきています。定例作業、イベントの際や懇親会の折に、既存会員の方から新会員の方へのお声かけや、いろいろなお話をさせて頂いている事に、感謝しております。定例の折には、安全で楽しく作業を続ける為の注意事項等も引き続きお話し下さい。

活動実績と予定

- 8/10 定例作業
- 8/23 富士電機コミュニティフェスティバル
- 8/24,25 清新第一小学校 父子森林スクール
- 9/7,8 チェーンソー特別講習①②
- 9/14 定例作業
- 9/15 チェーンソー特別講習③
- 10/6 森の研修 (応急救護)
- 10/27,28 三宅島緑化再生プロジェクト

会員動向

入会：ようこそ

稲垣和也さん、東蒼生さん、日吉辰也さん

退会：お疲れ様でした

酒井理恵さん、下野武志さん、(株)好日山荘さん (法人)

幹事会報告

(詳細はホームページ会員専用ページを参照ください)

◆ 5月

- 協議事項 5月定例作業予定
- 報告事項 三宅島緑化PJ 予定、植樹祭実施結果、2024年度森の研修方針、他

◆ 6月

- 協議事項 総会議案書の確認、総会の議長・副議長の選任について、他
- 報告事項 京王親子森林スクール実施状況、総会準備状況、環境フェス実施計画、他

◆ 7月

- 協議事項 7月定例作業予定
- 報告事項 各種イベントの実施状況および今後のイベント計画、美林見学会計画、他

編集後記



7月末からパリオリンピック開幕！市街地での開会式は夏のオリンピック史上初。それに世界遺産に囲まれた競技会場はなかなかオシャレで魅力的！編集期間がちょうどオリンピック期間と重なり、夜更かしの毎日でした。おかげで夏山は後回し???(大島徹)

